

宇検村立田検中学校 公開研究会

令和元年10月8日（火）

I 研究主題・生徒の実態・仮説

研究主題：生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成

実態1	バレーボール以外の球技に触れる機会が少なく、球技に対して意欲的ではあるが苦手な生徒が多い。	仮説1	教科体育や朝の活動の中で、様々な球技や他の領域に触れ、総合的に体力を高める補強運動を導入することで、体力・運動能力が向上し、運動する意欲、球技に対する意欲が高まるのではないかな。
実態2	部活動加入生と未加入生の体力差が学年が上がるごとに拡大している。	仮説2	学校教育活動全体を通して運動する場を設定することや家庭・地域との連携を図りながら行事等へ参加する場面を設けることで、運動する楽しさや喜びを味わうことができ、運動する意欲が向上し、生涯にわたり運動に親しむ資質を育むことができるのではないかな。

II 研究の実際

朝の活動での取組



朝のランニング活動



長縄エイトマン



球技の日（木）

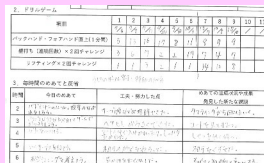
教科体育での取組



ドリルゲーム



ICT機器の活用



学習カード活用



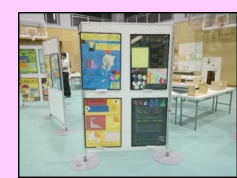
ホワイトボード活用

言語活動の充実

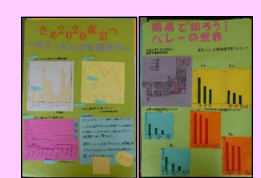
教科外の活動での取組



昼休みや行事での生徒会主催スポーツレクリエーション



統計グラフコンクール作成（スポーツ関連）



小中合同による取組



小中合同体育大会



小中合同ロードレース大会



健康教育での取組



ラスト10



歯科講話



栄養教諭訪問指導 健康朝ご飯献立

地域・家庭との連携



給食試食会



家庭教育学級

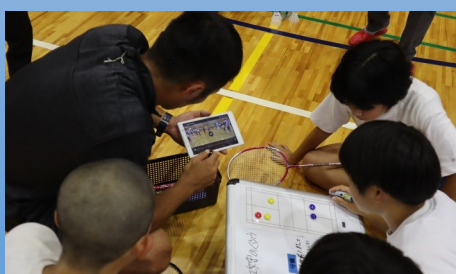


豊年祭への参加



ボランティアスタッフとして

III 公開授業及び全体会・研究協議の様子



参観者の感想より

- 課題が明確で生徒が課題解決のために主体的に試したり話したりしていた。運動量の確保も十分なされていた。
- 全職員で研究に取り組んでおり、運動に親しむことと継続した体力づくりの両輪で考えられているのが、良いと思った。
- 学習のしつけがよくできていて、生徒が楽しく学んでいたのが印象的だった。
- 考えさせる場面と運動量のバランスがとてもよかった。
- ▲「見方・考え方」を踏まえた内容として、授業づくりができていたか検討が必要である。
- ▲仮説の中に、教科体育の指導の充実に繋がる視点が必要ではないか。補強運動、運動する場の設定や行事参加という視点だけで「生涯に向かって…」につながるのか。

IV 成果○と課題●

成果（○）と課題（●）

- 部活動引退後の体力低下縮小
- 部活動未加入生の体力の向上
- 多くの球技に親しむことにより投力やボールを扱う能力が向上
- 運動に取り組もうとする意欲の向上
- 「主体的・対話的で深い学び」のための指導法の研究
- 運動習慣確立のための家庭との更なる連携の推進
- 体力・運動能力向上のための補強運動の効果的な取組